

## 〈論 文〉

## 補助動詞の難易度認識に関する調査報告

—中国の大学で教える中国人日本語教師を対象に—

押 尾 和 美

キーワード：補助動詞，立場志向性，中国人日本語教師，難易度

## 1. はじめに

補助動詞とは、動詞のテ形に後接し、内容語ではなく文法的な機能語としての働きを持つようになった動詞を指す。具体的には、テイル、テアル、テオク、テミル、テシマウ、テモラウ、テアゲル、テクレル、テイク、テクルなどがこれにあたり、これらは主として初級を中心に学習される。水谷（2001 p.50）は、「補助動詞は一般に外国人学習者にとって習得が困難とされ、使った場合の誤用や使えないために敬遠する非用などが観察される。その原因については、動詞に動詞を重ねるという使い方になじめない場合もあり、また同じ補助動詞の用法が多岐にわたって複雑であることも考えられるが、最も大きな原因は、補助動詞が持つ心理的な要素、とくに立場志向性の理解が十分でないためであろうと考えられる」と述べている。

国際交流基金によると、海外には約365万人の日本語学習者がおり、彼らに日本語を教える教師の71.8%が日本語を母語としないノンネイティブの教師であることがわかっている（2011年調べ）。海外における日本語教育の発展には、教師の日本語力・教授能力を向上させ、教材を充実させていくことが重要である。

筆者が勤務する日本語国際センター（以下「センター」）では、毎年9月から2か月間、中国の大学で日本語を教える日本語教師（以下、CJT）約40名を招聘し、日本語の運用力を高めること、教授能力を伸ばすこと、日本に対する理解を深めることを3つの柱として研修を行っている。中国における日本語教育はレベルが高く、そこで教える教師たちもノンネイティブでありながら、かなり高度な知識と運用力を身につけている。筆者は今回の研修を利用し、CJTが個々の補助動詞についてどのような難易度の認識を持っており、自身がどのように運用しているか調査した。本稿ではその結果を報告する。

## 2. 調査内容

本調査の調査項目、協力者のプロフィール、調査手順は以下のとおりである。

### 2.1 調査項目

- ① CJTは、補助動詞の難易をどのように捉えているか。教える際、どのような例文を用いているか。
- ② 文脈を手がかりに、空所に入る適切な補助動詞を判断して書き込む問題では、どのような解答傾向が見られるか。

### 2.2 協力者のプロフィール（36名中32名）

滞在期間：2011年9月21日（水）～11月11日（金）[52日間]

性別：男性6名 女性26名

年齢：最年長 54歳 最年少 26歳 平均：40.23歳

教授歴：最長 32年 最短 1年 平均：13.3年

### 2.3 調査手順

- ① 10月24日（月）の授業終了後、約5分間調査目的を説明し、協力を要請した。解答期間は5日間とした。
- ② 28日（金）17時までに集まったアンケートを回収し、採点した。

## 3. 結果

### 3.1 調査項目① CJTは、補助動詞の難易をどのように捉えているか。教える際、どのような例文を用いているか

アンケートでは、初級で扱う11の補助動詞を示し、やさしいと思う順番に番号を振ってもらった。

解答を見ると、難易度が同じと判断した場合の記入方法の指示をしていなかったため、異なる補助動詞に同じ数字が記入されている解答があった。今回はそのまま入力し、合計得点を出した。

表1 補助動詞の難易順集計結果と記述されていた例文（一部）

順位	補助動詞	合計	例文
1	てみる	81	聞いてみたら？ このことを日本人の先生に聞いてみましょう 一度めずらしい果物を食べてみたい 今日納豆に挑戦してみようか
2	ている	115	本を読んでいる 今大学の教師をしている 雨が降っている 今読んでいる もう読んでいる 繰り返し読んでいる 葉が落ちている 彼は3か月前に日本に行っている 冷蔵庫にビールなどが入っている 死んでいる 似ている 結婚している すぐれている
3	ていく	122	これから先、どうやっていこうでしょう 鳥が飛んでいった これからの課題として調査していきたい 飛行機が富んでいった 彼の姿が霧の中に消えていった これから頑張っていきたい 気が遠くなっていった 元気にやっていきます だんだん遠ざかっていった父の後ろ姿を見て、涙が思わずこぼれちゃった 空が暗くなっていく 日が沈んでいった
4	てくる	139	野菜を買ってくる 馬が走ってくる 今まで頑張ってきたので、諦めることはない 飲み物を買ってくる 新生児がどんどん増えてくる 気が戻ってきた だいぶ寒くなってきた 今日配ったプリントは明日も持ってきてください 日が沈んでいった
5	ておく	152	お客さんが来る前に掃除をしておく ビールを冷やしておこう 明日の内容を予習しておく 日本に来る前に日本語を勉強しておいた 前もって用意しておく そのままにしておく わざと言わせておく しばらく言わせておく テレビはそのままにしておいてください
6	てしまう	165	ノートを忘れてしまった もう食べてしまった 財布を落としてしまった 宿題をやってしまう
7	てある	207	テーブルの上に並べてある 先生にはもう話してある 黒板にりさんの名前が書いてあります 窓があけてある
8	てあげる	238	友達の荷物を持ってあげた これを買ってあげる 王さんにカバンを持ってあげた 困った人に手を貸してあげた
9	てやる	239	手があれば、妹にご飯を作ってやってくださいと母に言われました 花に水をかけてやる 息子に英語を教えるやります 妹に数学の問題を教えるやりました 犬に遊んでやる、花に水をやる、 これぐらいも知らないの？ 教えるやろう！ 姪にお話をしてやる 犬に肉を持ってやる 犬に食べてやる 子供に習字をしてやる
10	てくれる	250	友達は荷物を持ってくれた 誕生日に張先生がケーキを買ってくれました 父は私に電話をかけてくれました りさん、明日の午前10時に来てくれますか ついでにこの手紙を出してくださいませんか
11	てもらう	272	友達から家まで送ってもらう 友達に荷物を持ってもらった 王さんはりさんに先生の住所をおしえてもらいました もう少し席をつめていただけないでしょうか

合計から、テミルが最も易しく、テモラウが最も難しいと認識していることがわかった。また、得点差を見ると、Aグループ（テミル）、Bグループ（テイル・テイク・テクル・テオク・テシマウ）、Cグループ（テアル）、Dグループ（テアゲル・テヤル・テクレル・テモラウ）の4つに分かれ、グループ間には30点以上の開きが見られた。

例文を見ると、テイルに「動作の持続」以外の用法を書いていたCJTは、大きい数字を付ける傾

向が見られた。テヤルでは誤用も目立った。テアゲル・テサシアゲル・テヤルについての文法解説を見ると、例えば『初級日本語文法総まとめポイント20』には、「他者のために、好意的な行為をするときに使います。「わたし」が主語のときは行為のおしつけのような感じを与えるので、使いすぎないようにしましょう」(p.98)とあり、知識として教えても消極的な運用を勧める記述も多い。特に、テヤルは最近使用を避けられる傾向にある。このような状況から、結果的に、CJT自身も実際に聞いたり使ったりする機会がないため、誤用が見られたものと思われる。

### 3.2 調査項目② 文脈を手がかりに、空所に入る適切な補助動詞を判断して書き込む問題では、どのような解答傾向が見られるか

テクルの適切な運用力を測ることを設問意図に、空所補充問題を12問作成した。しかし、解答を見ると、指示がうまく伝わらなかったのか、テクル以外の補助動詞を入れたものが複数見られた。そこで今回は、①テクル以外の表現が入っていても会話が成立していれば正解とした場合と、②設問時に期待した解答以外を認めない場合の2パターンで採点し、正答率と識別力を計算した。正答率は、その問題を全受験者のうち何人が正解したかを表す値のことで、正解者が多いほど正答率は高くなり、問題は易しいということになる。識別力は、その問題が受験者の能力差を測ることができるかどうかを示す値のことで、「成績上位群の正答率－成績下位群の正答率」で表される。識別力は、一般的に、0.3～0.7の範囲であればよいとされている。計算の結果は以下のとおりとなった。

表2 会話が成立していれば正解とした場合の結果

小問	(1)	(2)	(3)		(4)		(5)		(6)		(7)		(8)
正答率	0.97	0.75	0.72	0.81	0.56	0.38	0.84	0.91	0.91	0.91	0.81	0.81	0.81
識別力	0.10	0.40	0.60	0.40	0.30	0.40	0.30	0.20	0.30	0.20	0.30	0.30	0.00

表3 設問時に期待した解答以外を認めない場合の結果

小問	(1)	(2)	(3)		(4)		(5)	(6)		(7)		(8)
正答率	0.50	0.63	0.72	0.81	0.56	0.38	0.25	0.91	0.69	0.47	0.78	0.44
識別力	0.90	0.30	0.50	0.40	0.30	0.40	0.40	0.20	0.70	0.50	0.40	0.80

識別力を見ると、(1)(8)は複数解答が出ないようにすれば数値が上がるのが分かった。

今回は、①テクル以外の補助動詞を入れていても会話が成立していれば正解とした結果を用い、解答に共通の傾向が見られた問題を中心に考察を試みる。

- (1) A：お店，見つからないね。  
 B：あそこに交番があるから，（聞く→ ）か。  
 A：待って，私も一緒に行く。

【正解とした解答：テクル類14 テミル類10 ナイ1 ル1 マス2 意向形1】

- (2) A：コンビニへコーヒーを 買いに行きます。  
 Bさんのもの（買う→ ）か。  
 B：じゃあ，悪いけど いいかな。

【正解とした解答 テクル類22 マシヨウ2】

【不正解とした解答 テアゲル類4 テイク1 マス2 テ来ナイ1】

(1) (2) どちらも，「話し手が今いる場所から離れた場所に移動する→動作V<sub>1</sub>を行う→再び戻ってくる」という動きを「V<sub>1</sub>テ+クル」が表わしており，実は同じ用法なのだが，(2)の解答にはテアゲルが4例見られた。(2)のやりとりの中でAとBの間に恩恵の授受が生じていることに注目したCJTは，テアゲルにしたものと思われる。(2)の解答には「買ってきてあげましょうか」も正答として考えられるが，今回は見られなかった。「窓を開けておいてくれた」「猫にえさをやってもらっている」など，補助動詞は組み合わせて使うことが可能だが，このような表現は，CJTでもあまり馴染みがないことが伺われる。

- (4) A：明日，Cさんは休むかもしれないと言っていました。  
 B：そう。休むなら，私かAさんにメール（①する→ ）って伝えてね。

【正解とした解答：シテ類12 命令形2 スルヨウニ4】

【不正解とした解答：テイク1 テクル1 ヤル2 スル9 テクダサル1】

(次の日)

- A：Cさん，私にメール（②する→ ）なかったけど，Bさんにはあった？  
 B：なかったよ。

【正解とした解答：テクル12】

【不正解とした解答：スル14 テクレル5 テイル1】

(4) ②は，行為が及ぶ方向を表すテクルの例であるが，ほかの問題に比べて正答率が低かった。問題が1問しかなかったため断定はできないが，「友達が旅先から絵葉書を送ってきた」「知らない人が道を聞いてきた」のように，テクルがあることによって，他者のある行為が話し手に及ぶことを表わす用法は，運用にまで結びつきにくいのではないと思われる。

②はABCの関係によってテクレルも可となる場合も考えられるが，Cさんからの欠席連絡の電話は，AさんとBさんにとっての恩恵には当たらないと判断し，不正解とした。この結果からも，「恩恵」の捉えかたの難しさが伺われる。

(5) A：このバナナ，だいぶ（痛む→ ）ね。

B：本当だ。じゃあ，腐る前に食べちゃおう。

**【正解とした解答：テクル12（テンス誤り3，活用表記誤り各1含む） テイル5 テシマウ1 タ9】**

**【不正解とした解答：ダッタ3 クナッタ1，痛イ1】**

(7) 母：これで，250度のオープンで30分焼いて。

娘：はい。

(30分後)

娘：うーん，いいにおいが (①する→ )。

**【正解とした解答：テクル17（含テンス誤り4） ル6 テイル類4 マス2】**

**【不正解とした解答：テ2 タ1】**

(父が帰宅)

父：ただいま。おっ，いいにおいが (②する→ )な。

今日の晩ごはんは何？

**【正解とした解答：ル16 テイル8 テクル2】**

**【不正解とした解答：タ4 テクレル1 解答2つ1】**

(5) と (7) ①は徐々の変化の開始を表す用法であるが，どちらも比較的よくできていた。

正解としたテクル以外の解答を見ると，(5) ではテイルとタが多かった。(5) のテイルとタは，変化の結果（完了），テクルは開始を表し，描く局面が異なる。今回はすべて正解としたが，同様の調査を再度行うときは，イラストを入れるなどして場面を限定するようにしたい。

(7) ①②は正解以外にル・テイル也多かった。「においがする」「音がする」のような知覚を表す動詞の場合，ルやテイルでも現在の状態を表すことができる。この問題では，徐々に匂いが漂ってきた状況（娘の場合），突然匂いを感知した状況（父の場合）を伝えたかったが，短いやりとりの中では伝わらない人もいたようである。

(8) A：お店，だいぶ混んでますね。

B：今は混んでいますけど，3時を過ぎると（空く→空いてきます）。

**【正解とした解答：テクル類14（含テンス誤り1）ル2 テイル3（含テンス誤り1）マス6】**

**【不正解とした解答：テイク類7（含表記誤り2）】**

(8) も徐々の変化の開始を表す用法であるが，未来における徐々の変化の開始を述べている点が(5) (7) と異なっている。ここでは不正解にテイクが7例見られた。

テイクは，「これからもがんばっていきます」「生活が豊かになっていく」のように，過去から現

在・未来に向かう「継続」を表すことはできるが、「開始」を表すことはできない。過去から現在における「開始」はテキタ（「100回読んだらわかってきた」）、現在から未来における「開始」はテクル（「100回読めばわかってくるよ」）が担うのだが、時間の流れと空間的に近づく動きのベクトルが逆行しているようにも感じられる。これらを混同してしまったCJTは、テイクを選んだものと思われる。

#### 4. まとめと今後の課題

今回の調査から以下のことが分かった。

- (1) 補助動詞の難易度の認識は、段階的に4つのグループに分けられる。
- (2) 恩恵の補助動詞は、適切な場面での運用が難しい。苦手意識があるのか、恩恵が感じられる場面では、他の補助動詞よりも率先して使用する傾向がある。
- (2) テクルでは、他者のある行為が話し手に及ぶことを表わす用法は、運用にまで結びつきにくいようである。
- (4) 現在から未来に向かう徐々の変化の開始を表すとき、テイクの誤用が見られる。

今後は調査用紙の内容に改良を加え、さまざまな言語を母語とする教師にまで広げて行ってみたい。

#### 謝 辞

本調査には、日本語国際センター中国大学研修に招聘された中国人日本語教師32名の協力を得ました。また、質問紙の検討、模範解答の決定に当たっては、水谷信子教授をはじめ、対照言語学特論の授業に参加している修士課程、博士課程、卒業生の皆さんから意見をいただきました。ここで、ご協力いただいた全ての皆さんに心からの感謝の意を表します。

#### 参考文献

- 水谷信子（1985）『日英比較話しことばの文法』（くろしお出版）  
———（2001）『続日英比較話しことばの文法』（くろしお出版）